

世界の成長エンジン 躍進するインド

Message

駐日インド大使 シビ・ジョージ

インド 戦略的パートナー 日本

第75回インド共和国記念日を迎えるにあたり、日本の天皇后両陛下、日本政府そして日本国民の皆さまに心からごあいさつ申し上げます。また進歩を続ける印日特別戦略的グローバル・パートナーシップの重要なステークホルダーである、インド国民の皆さま、そして日本のインドのご友人の皆さまに敬意を表します。

◇
2023年、印日両国はG20議長国、G7議長国として緊密に連携しました。インドはG20で、ヴァスダイヴァ・クトゥバカム、すなわち「ひとつの地球、ひとつの家族、ひとつの未来」というテーマを掲げ、アフリカ連合のG20正式加入を実

現し、G20諸国だけではなくグローバルサウスの国々の課題にも焦点を当てた歴史的な文書、G20首脳宣言を採択しました。印日関係は、23年の3月にニューデリーで行われた印日年次首脳会談や5月のG7広島サミット、9月のG20ニューデリーサミット時に行われた首脳会談といったハイレベル交流を経て、さらに勢いづいています。

対印投資5兆円

昨年の7月には菅義偉元首相が政財界のリーダーで構成されたビジネス代表団を率い訪印されました。また印日間初となる戦闘機訓練も開催され、防衛協力もますます強化されています。両国は今後5年間で日本からの対印投資額を5兆円に拡大するという目標の実現に向け、真摯(しんし)に取り組んでいます。また産業競争力強化やエネルギー、デジタル、サプライチェーン(供給網)強化、半導体やサプライチェーンなどに関する既存のパートナーシップについても、さらなる強化を図っています。

日本は、ムンバイ・アーメダバード高速鉄道事業やムンバイ港湾間相互接続計画、そ

して北東インドにおける接続性向上事業といったインド国内の旗艦インフラ開発事業における重要なパートナーです。また、インドの高度スキル人材は、日本の産業界における人材不足を補うことができるでしょう。

ヒマラヤと富士山つなぐ

両国は24年を引き続き「印日観光促進年2.0」に定め、「ヒマラヤと富士山をつなぐ」をテーマに取り組みを進めます。また「印日科学イノベーション促進年」も展開していきます。

両国の首脳は、日米豪印の協力枠組み「クアッド」を通じ、インド太平洋地域とその周辺地域に平和と安定、繁栄をもたらすことを決意いたしました。日本は国際太陽光同盟(I SA)や災害強靱化インフラ連合(CDRI)といった多国籍取り組みにおいて、インドと緊密に連携しています。また両国は国連改革を含む、多国籍議場の改革においても協力しています。

24年が始まり、47年の独立100周年にいたる黄金の25年間



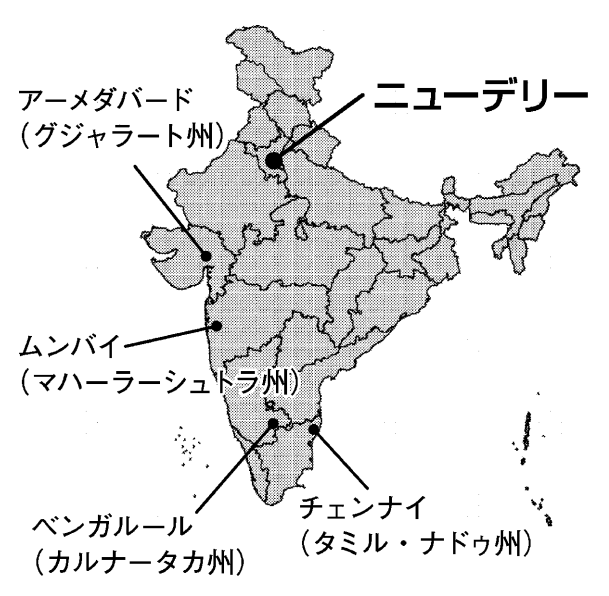
「アムリット・カール」への道を歩み始めたインドにとって、日本は大切な天為(てんい)のパートナーであります。両国間の強力な人的絆をもって、安心・安全で持続可能な世界のため、特別戦略的グローバルパートナーシップのビジョンを掲げてまいります。



G7広島サミットに合わせインド独立の父とされるマハトマ・ガンジーの胸像が広島に設置された。除幕式に参加したナレンドラ・モディ首相(2023年5月)

インドの高度スキル人材ー日本の産業界補う

きょう1月26日は1950年にインドで憲法が公布されたことを記念する「インド共和国記念日」。インド各地で大規模な祭典が行われる。14億人超からなる巨大市場と豊富な生産年齢人口、都市化の進展などを背景に、インドは世界経済の成長センターとしてのポジションが鮮明になってきた。ここでは戦略的パートナーシップが求められる日本ーインドのビジネス模様を中心に紹介する。



インド基礎情報

- 人口: 14.2億人(2022年7月1日、国連推計)
- 面積: 329万平方キロメートル(日本の約9倍)
- 名目GDP: 約3.5兆ドル(2022年、IMF)
- 統治: 連邦制(28の州、8の連邦直轄地)



ニューデリーで行われたG20に合わせ岸田文雄首相夫妻が訪印(2023年9月)



チェンナイ市内は多くの自動車が行き交い混雑する

印日ビジネスー高いポテンシャル

進出1400社・4900拠点

現在、インドに進出している日系企業数は大手を中心に1400社・4900拠点で、製造業からITやサービス産業など業種が多様化している。ただ14億2000万人の世界一の人口は2050年になった頃にはさらに2億人超増加し、16億7000万人に到達する。中間層の増大は今後のインドビジネスのカギであり、長く続く人口ボーナス期を迎えるインド経済のポテンシャルからすると、進出数はまだまだ少なく、印日ビジネスの深耕はこれ

からが本番だ。インドなどで10年以上、自動車ビジネスに関わるある関係者は「日本では最近、インド成長力のポジティブな側面がよくメディアなどで言われている。だが現場にいる身としては、それ以上に可能性の高さを肌で感じる」とし、印日の双方の良さを掛け合わせた時にグローバルビジネスで本当の強さが発揮できると強調する。

大使館に中小企業相談窓口
インド政府も印日ビジネスの裾野

強さ掛け合わせ強さ発揮
を拡大するための取り組みを開始している。2023年7月に在日インド大使館内に中小企業促進室を設置。きめ細かく相談に応じるための窓口となっている。シビ・ジョージ大使は頻りに全国の都道府県を回ってインドの可能性を語り、技術力を持つ日本の中堅・中小企業や労働者不足に悩む企業に向けインドの可能性を説く。

今月、大使館で開かれたセミナーでは刃物メーカーである貝印のインド子会社を率いるバンディヤ・ラジェシュ氏が登壇。これまでの経験から「インドで成功したいなら、石の上にも3年ではなく10年が必要。簡単な市場ではないが、素晴らしいパートナーになれる」と訴えた。インドを拠点としたアフリカや欧州の開拓、めざましい進化をとげるインド発スタートアップとの連携、デジタル人材の活用、そして労働力不足に悩む日本へ優秀な人材供給地点となることなど、両国経済の交わりは豊富な可能性を秘める。知恵を絞り、持続的な成長を目指した息の長い取り組みが求められている。

印のIT開発力で先進事例
インドのIT開発力を生かしたさまざまなイノベーション事例が生ま

株式会社 アルファTKG

製造業のみならずのおかげでアルファTKGは3月3日で創業10周年。たくさんのご愛顧を賜り心より感謝申し上げます。

DXを実現する『最も手軽』で『最も効果的』な新商品が誕生しました

2月1日 発売

※当社の主力商品『alfaDOCK』から生まれたシリーズです。

その名は…

アルファ・プリモ

PRIMOとは、イタリア語で「一番」「最初」「最高の」といった意味を持つ形容詞です。この単語は、何かが最初や最高のものであることを強調する際に使用されています。alfaPRIMOは、その名の通り製造業DX化の最初の入口として導入され、段階的にステップアップも可能であるため、費用対効果を実感しながら工場のデジタル化を推進し、経営効果に直結するDX化を実現することが可能です。

図面管理でお困りの方

標準パッケージ

「発売記念!特別価格でご提供」
~3月末まで ¥3,800,000(税別)

(すべてのお客様に:基本機能)
「10年の実績 alfaDOCK」の主要機能を厳選複製し、新規開発機能を搭載しました。

- 紙図面 AI文字起こし
- 図面 一元管理 (クラウド保存) 写真・動画の自動紐づけ
※1図面 5Mbyteで10万枚程度管理。クラウド容量500GB(標準)
- AI検索 (AI類似品検索、ワードAIサーチ)

現有資産の活用をお望みの方

オプション ¥900,000(税別)

- 立体姿図活用ソフト

※ご使用中の「自動プロ」に保存されている膨大な数の「展開図・立体姿図」を図面と自動紐づけ(図番一致)し、「展開図・立体姿図」を2次利用するソフトです。
※alfaPRIMOのオンプレサーバーと自動プロをお客様工場のLANを使って接続します。(オンプレサーバーは、alfaPRIMO標準パッケージに含まれています)

見積作成でお困りの方

オプション ¥900,000(税別)

- 見積検索ソフト

※過去の見積情報(Excelなど電子データとして)保存されている場合、図面と自動紐づけ(図番一致)し、AIによる類似品検索で、過去見積を瞬時に探すソフトです。
※alfaPRIMOのオンプレサーバーと見積検索ソフトをお客様工場のLANを使って接続します。(オンプレサーバーは、alfaPRIMO標準パッケージに含まれています)

